

現代住宅作品における関係の複合性(1)

—作品解説からみた空間構成要素と結合パターン—

複合性 関係 現代住宅作品 言説 建築家

正会員 青木 弘司\*  
同 山田 深\*\*  
同 佐々木 夕介\*\*\*  
同 ○ 丸山 友士\*\*\*

1. 序 建築家は設計過程において、様々な水準における物事の間を思考することで空間を構築している。このような立場からは、建築を、建築家によって思考された関係性の総体として位置付けることができる。つまり、実体としての建築は多様な関係が複合されることで立ち現れるとも言え、それは建築の構成のみからは捉えることができないものをも含み込んでいると考えられる。そこで本研究では、建築家が思考する建築の複合的な関係を言説から浮き彫りにし、建築家が空間を構築する上での関係性に関する思考の枠組の一端を明らかにすることを目的とする。

ここでは住宅設計に際して建築誌に発表された建築家による「作品解説」を資料<sup>1)</sup>として扱い(表1)、関係の複合性を読み取る上で重要だと思われる要素を「空間構成要素」とし、それらがどのように関係づけられているのかが明確に語られている箇所とともに言説から抽出することで全資料についての関係図式を作成した(図1)。この関係図式は、空間構成要素のカテゴリーを記号化して縦軸とし、空間構成要素の分布を横軸に表した記述方法であり、建築家が実体的な要素同士をどのように関係付けて思考しているのか、すなわち「関係の疎密」を資料毎に比較可能なものとして捉えるための図式である。まず本編では、言説に現れる空間構成要素の内容とその基本的な関係のあり方についてみる。

2. 言説における空間構成要素と関係の表現 言説から抽出した空間構成要素を、その内容について分類・整理すると(表2)、[材質・仕上げ][室][部位]など建築そのものに関わる「建築構成要素」と、[敷地][隣接要素][自然環境]などの「外部環境要素」の2つに大きく分類された。この中で「ヴォリューム・形態」は、建築構成要素と外部環境要素の両水準で捉えられる点で他のカテゴリと異なっている。

また空間構成要素が、どのような性格の関係として表現されているか、つまり関係の内容についてみてみると、大枠3つに整理された(表3)。<動線的接続>は人の移動についての関係であり、<視線の接続>は要素同士の視覚的な関係である。これらはいずれも建築における直接的かつ具体的な関係であるといえるが、一方<意味・現象的な関係>は、建築家が実体的な要素相互の関係に対し、観念的あるいは感覚的・現象的な関係を見出すものである。空間構成要素の関係は、その多くが<意味・現象的な関係>であり、これに加えて<動線的接続>と<視線の接続>を補助的にみていくことで、建築家の思考する関係の表現を大枠捉えることができる。

3. 結合パターンとその組合せ 次に、上で分類・整理した空間構成要素の内容および関係の表現を基に、全資料について関係図式を作成し(図1参照)、そのトポロジカルな性格についての検討を行う。

関係図式における空間構成要素の結合の仕方を相対的に検討したところ、《放射型》《鎖型》《包含型》《集合型》という4つの結合パターンが導き出され(表4)、全ての関係図式はこれらの結合パターンの組合せとして捉えることができた。

表1 資料リスト

No.	掲載年月	論文名	建築家
1	JT9701	新しい「イナカ」を求めて	林雅子
2	JT9702	世界の模型(imagio mundi)としての住宅を	藤本隆男
3	JT9703	ネイティドキューブと鏡像概念	山下秀之
4	JT9703	いろいろな関係-2	吉井康晴
5	JT9705	住宅における建築性	坂藤リョウ
6	JT9707	丸木柱と鉄のビーム	石井和雄
7	JT9710	建築のエフェメライゼーション	長田直之+清水裕二
8	JT9712	ふたつの集まりがつくる明と暗のバイブレーション	宇露直子
9	JT9712	スカートの風	千露子
10	JT9801	設計ノート	早川邦彦
11	JT9801	すまいのヴァイタライズ	斎藤裕
12	JT9801	水	前田紀夫
13	JT9802	壊れたものを直すということについて	宮本佳明
14	JT9802	住宅の「建ち方」について	塚本由晴
15	JT9803	生活を変える道具	北山恒
16	JT9804	空を望む目	竹山聖
17	JT9805	世界一内一住居	前田忠徳
18	JT9807	扉をめぐって	斎藤裕
19	JT9809	住まいの広がりをつくる建築	湯澤正徳
20	JT9809	鯨物の生気	石山修武
21	JT9811	生活の全体	西沢立衛
22	JT9811	「考えごとの家」についての考えごと	タカマサヨシコ
23	JT9811	「住む」ことの構想力	黒川隆
24	JT9812	白のリフレクション、もしくはエコーズ	米田明
25	JT9901	住宅を設計するということ	岸和郎
26	JT9901	都市のファサード	石田敏明
27	JT9901	住宅設計の条件について	塚本由晴
28	JT9901	太郎松でメデタシ	斎藤照信
29	JT9902	小住宅における場所性	坂藤リョウ
30	JT9905	SLIM	山下秀之
31	JT9905	郊外住宅の物語	渡辺真理+木下廣子
32	JT9906	具体的な感覚	東藤勇
33	JT9906	空間ヴォリュームと居住性	越賀亮郎
34	JT9908	構成を表現を捨てること、及び互換性について	青木淳
35	JT9910	ウチとソトのうち	千露直子
36	JT9910	新しい技術が新しい住まい方を	前山伸雄
37	JT9911	アウトルームの天井は青い空	植名美三
38	JT0001	情景に暮らすために、いかに切り捨てるか	伊藤寛
39	JT0002	折りたたまれたワンルーム	佐藤光彦
40	JT0002	結露としての住宅	小山隆治
41	JT0002	新しい風景に住み込む	入江正之
42	JT0002	フィルタリングについて	渡辺真理+木下廣子
43	JT0003	環境と「生活のアリアリ」をつなぐもの	宮本佳明
44	JT0003	未知の近代建築に向けてVI	岡河真
45	JT0004	「いたれりつくせり」でないこと	青木淳
46	JT0004	アルミの家への期待	伊東豊雄
47	JT0004	GEO-FLUXUS	田島勇一
48	JT0005	現代という時間軸を通過するヴァンキュラーな建築を通して	久保清一
49	JT0007	ゆるやかに世界とつながってみたいと考えて	花田佳明
50	JT0009	田園風景と白い幾何学	山名善之
51	JT0009	What's DOMINO now?	松本正
52	JT0011	n-house その場の記述法について	阿部仁史
53	JT0103	建築、直感、ORDER:心の宿る場所を求めて	矢板久明
54	JT0103	REFRACTION	竹山聖
55	JT0107	非住宅という住宅	細田雅幸
56	JT0108	輪郭の再トレース	佐藤光彦
57	JT0108	屋根の上と屋根の下	手塚貴晴+手塚由比
58	JT0109	建築の内部について	岸和郎
59	JT0110	苔楽園-敷地(斜面)をいとおすことについて	宮本佳明
60	JT0112	通勤・都市居住・収納	渡辺真理+木下廣子
61	SK9906	浮き出させること	渡辺政樹+池田昌弘
62	SK0003	地形のもつ微差をつなぎ合わせ環境と連続させる	石田敏明
63	SK0006	共同体の存在強度に向けて	田田哲史
64	SK0006	【互換性/領域】	八重樫直人
65	SK0010	現代のヴィラにおける建築とランドスケープの関係について	宇野東
66	SK0101	【中心性/無機】	八重樫直人
67	SK0102	ストラクチャアによる「宅地」の再定義	宮本佳明
68	SK0102	組織化された全体	北山恒
69	SK0102	* 1	米田明
70	SK0103	家・記憶をつなぐ庭	古谷謙章
71	SK0104	奥慮	青木淳
72	SK0111	都市の中の隠れ家	石田敏明

表1註:掲載年月のJTとSKは各々『新建築 住宅特集』と『新建築』を示す  
空欄(\*1)は論文名の無いものを示す

